

第2回白石町総合計画審議会 会議録（要旨）

- 日時 平成26年7月22日（火） 午後7時～午後8時30分
- 場所 白石町役場庁舎3階大会議室
- 出席者 委員：22人出席、2人欠席
町：副町長、企画財政課職員4人、総合計画策定委員

○開会

【進行：吉岡課長補佐】

○会長挨拶

ようやく梅雨も明け、台風8号も発生したが白石町へはコースも外れ、幸いだった。新聞報道では、佐賀市や唐津市も審議会を立ち上げて策定されている様子。今日も審議をよろしくお願いします。

○審議事項

進 行：ここからは白武会長に進行をお願いします。

会 長：（1）前回の審議会の補足事項について、事務局から説明をお願いします。

事務局：別紙1に沿って説明。事前送付の分について説明。平成18年度に策定された計画について資料を送付していたが、これは参考資料でこれについて議論するのではなかった。今後見比べてもらうこともあるかもしれない。

会 長：事務局から説明があつたが、委員から質問・意見はないですか。

委 員：アンケートの対象者が、小学校・中学校となっているが高校生は無理ですか。

事務局：前回との比較ができるように今回も小・中学生としている。

委 員：中学を卒業したらほとんどが近くの高校に通っているので、アンケートを取る必要があるかなと思ったので質問した。

委 員：基本計画の中に土地利用計画の問題があるが、長寿社会で福祉施設・介護施設が不足している。用地の問題もあるので、山林等の開発で事業者が取り組みやすいように町で検討してほしい。

もう1点は、婚活サポーター結成式が行なわれたが、サポーター17名以外の町民全体で婚活に取り組むように計画を盛り込んでほしい。

事務局：今後の計画策定の中で意見を頂いて反映させていきたいと思う。

会 長：次に、(2) 審議会委員の意見等について事務局から説明をお願いします。

事務局：別紙2の説明。なるべく全てに対応したいが、数が多すぎる場合は意見が多いものについて審議会で検討したり、担当課で検討して審議会で回答するなどしたい。

会 長：提出先はどこにもってあげればいいのか。

事務局：役場事務局をお願いします。近所の職員に渡されるか、FAXでも結構です。

会 長：(3) 総合計画の計画期間について、事務局から説明をお願いします。

事務局：別紙3の説明。前回の総合計画は新町まちづくり計画に合わせて策定した。途中の平成22年度に見直しを行なっている。基本的には4年間の白石町長の任期に合わせて策定したい。基本構想はこの先10年程度の進むべき方向性を示すものと考えたい。その中で6年間で取り組んでいくこととして表示したい。そのため第2次総合計画は6年間で計画したいと思うので、審議をお願いしたい。

会 長：事務局から第2次は6年間、第3次を4年間で設定するとの提案がありましたが何か意見はありませんか。

委 員：期間は問題ありませんが、叩き台を早く見たい。それを見て我々の意見を出し合いたい。

事務局：本日6年間と決定すれば、それにより具体的に各課で6年間での計画を作れるので、1日も早く叩き台を出せるようにしたい。

会 長：計画は中・短期だが、まちの基本的な構想は10年は必要だと思うが。

事務局：白石町の将来像やまちづくりの方向性は10年くらい。基本計画では6年間で策定したい。

会 長：期間について、採決を取りたい。第1次案に賛同の方は挙手をお願いしたい。
(挙手多数)

挙手多数につき、期間は説明のとおり第1案で決定したい。

次に、(4) 町民アンケート、小中学生について事務局から説明をお願いします。

事務局：別紙4、5の説明。設問については策定員会で検討したものとなっている。問6、問7については、仮に統廃合すべきとの意見が大多数出たからといって、即座に統廃合を行なうことにはならないが、今後の参考にはさせてもらう。アンケートの改修・集計は㈱ランドブレイン福岡事務所に委託している。アンケート結果は集計・分析後は町ホームページへ掲載予定。

小中学校アンケートは7月10日の校長会で、夏休み前に実施してもらうよう依

頼した。

公共施設と小中学校について、これまで具体的にアンケートを実施したり、町民の皆さんと論議をしたことがなかった。町民の皆さんがどう思っているのか、役場では把握できていない。また、公共施設の総合管理計画の策定が国から要請があっている。老朽化した施設の維持が、日本全国で大きな問題となっている。さらに人口減少問題がある。質問をあまり複雑化すると回答率が下がる。このようなアンケートは回収率が40%と言われている。

小中学校についても、少子化でクラス替えもできていない。逆に地域に学校がないと活性化しないとして、子どもを呼び戻して1人で学校を再開させた例もある。これまで町民の皆さんの意見を聞きたかったが聞けなかった。しかし今後は本格的な議論をしていかなければいけない。その参考とさせてもらうためにこの質問を準備している。

会 長：事務局から説明があつたが、委員から質問・意見はないですか。

委 員：交流館は完全に民営化したのか。

事務局：現在は指定管理委託で、社協に委託している。

委 員：子育て支援や高齢者、障がい者への質問も少ないので含めていただきたい。

事務局：子育て関係については、昨年子ども・子育てアンケート調査が実施されているので、その中身を総合計画に取り入れるようにする。

委 員：土地利用についての問題について、回答に「工業地の整備・強化」とあるが、数年前に策定した都市計画で山から海までネットを張って開発できないようにした。その辺はよく調べて質問するようにしてほしい。

事務局：都市計画については、まだできていない。最終的な手続きまでは進んでいない。

委 員：県にも申請していないのか。

事務局：まだ申請していない。全く前回のもを使わないのではなく、さらに検討しているところ。前は農業の発展を中心として計画を作っていたが、もう一度それでいいのか再度検討するために考えているところ。

委 員：3年ほど前に委員として、大学教授などが入って一緒に策定した。それを無視しているなら問題だ。

事務局：最終的に町の判断で、止めているところ。土地利用計画については再度検討させてほしい。

委員：小中学生アンケートは、町外に通っている小中学生にはアンケートは送らないのか。

事務局：回収の手間を考えると、今回は町内に限っている。

委員：他町であったが、町外の中学生には卒業祝い金等を給付しないことで問題になった。同じ町内に住んでいるのに差があるのはおかしい。そういう子どもたちも視野に入れてほしい。

事務局：学校教育課に確認して、対応する。

委員：回収の期限はいつ頃か。

事務局：2週間ほどと考えている。

委員：集計結果は男女別や年齢別の集計もできるのか。

事務局：クロス集計をするので、分析できる。

委員：町として初めて聞くアンケートで、公共施設のあり方の質問にして少し乱暴な感じもするが。回答が偏った時に公表するのはいかがなものか。

事務局：結果は公表し報告する。実際の統廃合となった場合は、もっと町民さんに具体的なデータを示して、もっと詳しく説明をする。今回のアンケートはあくまで方向性を問うものと考えている。

会長：無作為とは、機械的に行なうものか。

事務局：住民基本台帳の構成割合で2,000人を按分する。18歳以上だと1.5%なので、2,000人では31人となる。

会長：年代別に行なうのか。

事務局：年代別と性別で按分する。

委員：公共施設について、利用人数を示せば少し考えると思うが。

事務局：公共施設にしても小中学校にしてもアンケートを通じて、1つの問題提起として町民さんに認識してもらうために入れている。回答結果が偏った場合は、施設の使用状況などで、十分に調整をとって進めていく。

委員：判断材料がないので、答えにくいと考えている。

委員：目的がはっきりしないので、そういうアンケートは怖い。そんなに急ぐ必要はないのでは。公共施設、小中学校についてはみんなが首を傾げているというのは無視できないのでは。

事務局：集計・分析まで期間が2カ月ほどかかる。

会長：判断材料がないので、備考欄にでも書いてもらったほうがいいのでは。

事務局：施設ごとに年間利用者数、維持費などの資料をつけると、逆に結果の誘導になりかねないので、それでは困る。町全体としてそれぞれの施設が旧町ごとにあったが、合併10年経ってそれをどうするかという考え方を答えていただきたい。

会長：今回は意識を持ってもらうという意味合いが強いとのこと。具体的には今後検討していく。

委員：公共施設について、どこにあるかもわからない人が多いと思うので、回答内容を利用したことがありますか、ぐらいから入れないか。アンケートをもらった人が分かる人ばかりではないと思う。

事務局：利用の人数は町でも把握している。当初は施設ごとに利用頻度などを問うていたが、策定委員会ですべての意見が出てこの形になった。

委員：わからないという回答が多数出た場合はどうしますか。

事務局：もっと詳しい説明をして判断を仰ぐべきということになると思う。たくさんの意見を頂いているが、今回公共施設について触れないとそれこそ何をしているんだということになるので、アンケートに取り入れた。

会長：アンケートをするだけではなく、その後も具体的な手順が必要となってくるので十分対応していただきたい。

委員：もし廃止をするという意見が多数出た場合には簡単にはできないのでは。だからもう少し質問内容を変えたらどうか。どうせ簡単にはいかないなら、質問内容を変えてみては。

事務局：設問の仕方を変えていきたい。「合併前のそれぞれの町で整備された下記の施設があります。これについて、今後も維持していくべきか、将来的には統合していくべきなのかお尋ねします」と変えてみてはどうだろうか。

委員：廃という言葉が消してください。そしたらいいと思います。

事務局：将来的に維持していくべきか。

委 員：廃止はできないのだから。

事務局：町民の皆様の総意で、検討した結果が廃止ならば当然やるべきこととなる。ハードルはたくさんあるが、当然やるべき。

会 長：統廃合の文言を少し考えた方がいいということ。

委 員：項目を見ていたら、どれも廃止する施設はない。どれも特色があって利用されている。だから、できないと考える。文言をもう少し柔らかくする。表現の仕方を変更したらいかがか。

事務局：遠い将来はどうですか、という内容にして、廃止の廃の字を削る。方向性をお尋ねするように変えたいが。

会 長：その他ないですか。ないようなので、事務局から。

事務局：次回の日程について、アンケートを検討するようにとの指示をもらったが、発送後2週間くらいで回収し、集計・分析までで2カ月程度かかるので、10月上旬くらいを考えている。

委 員：今後の進め方として、叩き台を早く出してほしい。

事務局：なるべく早く出すようにしたい。

会 長：他にありませんか。

それでは第2回総合計画審議会を終了します。